

3. 「農業 IT の可能性と活用」

◇ご参加にあたって同意いただく事項

本ワークショップで生じたアイデアの内容、ワークショップ中の作成物、プレゼンテーションは報告書、WEB サイトにおいて公表され、パブリックドメインとして扱います。ただし、ワークショップ参加者が、ワークショップ内で言及する既存の研究やビジネスのコンセプト等の著作権については対象外とします。

また、ワークショップの様子は写真で記録し、写真は報告書、WEB サイトに掲載する場合があります。

◇本分科会はアイデアソン※

地球環境の変化が大きな影響を与える農業は、DIAS の地球観測データの活用が期待される分野です。DIAS に実装中、今後の実装予定のデータを、農業の危機管理やビジネスに活かせるのか、また、これからどのような農業関連データが社会に役立つのか、多面的な視点からアイデアを出し合い、可能性を考えるアイデアソンです。

※アイデアソンとは、特定のテーマについて参加型でビジネスのアイデアを出し合い、まとめていくワークショップの方法です。ペットボトルや水筒などで飲料を持込まれても結構です。

◇プログラム ◇

1. イントロダクション「DIAS の農業分野での可能性の紹介」 (10:00～10:30)

DIAS と農業 API で利用できるデータや解析モデル、画像などを紹介します。

また、農業データのビジネス活用の事例として、作物データを活用したカンボジアでの収穫代行ビジネス「empag」などの事例も紹介します。

2. ブレインストーミング (10:30～10:50)

農業において地球観測データ、気候データは、どのように活用できるか、アイデアを出していきます。

3. アイデアのレビューとグループ化 (10:50～11:05)

ブレインストーミングで出されたアイデアを共有したうえで、グループ化し、発展させていくアイデアやテーマを決めます。

4. アイデア・ブラッシュアップ (11:05～11:25)

テーマ・グループに分かれ、アイデアを多面的に検討し、ブラッシュアップします。

5. アイデアスケッチ (11:25～11:40)

可能性を感じるアイデアをシートに書き出します。

6. プレゼンテーション&投票 (11:40～12:00)

アイデアの発表を行い、可能性を感じるものに投票します。

※ 参加者交流会 (12:00～)